

健全経営について

先日、月1回の職場長会議がありました。

その時に、今月からの消費税8%→10%になるに当たっての考慮点、就業規則第11条の変更、プロテクターズボンの再考、施設内清掃についての問題点、物品請求・在庫管理についての再検討、などの議題が挙がりました。様々な建設的な意見が多く出て良かったと思います。

施設の運営は、このように遠慮ない意見を互いに出し合って相互の意見を調整しながら、適正なやり方を見つけていくという方法が、健全経営に適ったやり方であると思っています。

今回は、その一部、在庫管理について若干のお話を致します。

世間ではこの1—2週間、倫理的にはとんでもないことが現実起こっております。関西電力の運営者が高浜町元助役から3億を超える金品受領を行っていたと言います。返そうとしたら無礼者と罵られたりしたので返すに返せなかったと言ひ、大部分は返したとしてもつついその一部は懐に入れてしまったようです。

かんぽ生命保険の不正販売についてのNHK報道に対してなんと郵政側が文句を言ってきたなんとNHKの監督者、経営委員会が圧力に負けて上田NHK会長を注意し、NHK報道責任者の木田放送総局長が郵政側に詫言を入れたと言ひます。国民から見ればいい加減な運営をしていたのは郵政側で問題の根本は郵政にあるのに、なんとNHK側が詫言を入れるという事態が起きています。世間ではガバナンスが大事と言ひながら情けないこと限りありません。

そこで私たちも、他人のふり見てわがふり直せ、と言ひます。上記の世間の問題からみれば風に吹かれて飛んでなくなってしまひような小さなことで、倫理問題とも関係ありませんが、物品管理にも改めて目を向けた方がよさそうです。

現場の負担にならないような、誰でも気兼ねなく入れたり出したりできるような、それでいてしっかり管理できているような、そんな方法を皆さんで考えて頂きたいと思ひます。

昔、ある小学校の先生が、「管理無き管理」がもっともすぐれた管理なんだ、と私に言ってくれたことを今でもはつきり覚えております。その通りだと今でも思っております。

老人保健施設一羊館の理念

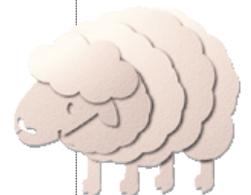
利用者の方々すべてに尊厳・安心・満足を！

一羊館の行動指針

私たちは、保健・医療・福祉の架け橋のプロに徹します。

私たちは、利用者のQOL・職員のQOL・健全経営の3立を目指します。

私たちは、質向上のために日々の小さな工夫を忘れません。



話合いの3原則：

- ①相手の意見は決して否定しないでしっかり聞きます。
- ②自分の意見はしっかり言う。ポジティブ表現で言ひます。
- ③正解は一つではないことを自覚して自制します。